

2016 年度
大阪ブライダル専門学校

学校情報

2016 年 9 月 30 日

1. 学校の概要、目標

(1) 学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色について

①教育理念

グローバルな視点を持ち、
職業現場でホスピタリティを実践し、
人と社会に貢献できる人財を育成します。

②教育方針

私達は、ホスピタリティ産業で求められるプロフェッショナルを養成するため、4つの教育を行います。

1. 相手の立場に立って行動できるホスピタリティ教育
2. 職業現場で活躍できる職業実践教育
3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

③設置する学校・学部・学科等

大阪ブライダル専門学校 2011年4月

ブライダル学科（昼間部・夜間部）

(2) 校長名、所在地、連絡先

①校長名 高田 直樹

②所在地 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25

③電話番号 代表 06-6447-0051

(3) 学校の沿革、歴史

【学校法人の沿革】

1973年 トラベルジャーナル旅行学院開校 夜間研修科開設

1974年 全日制開設

1975年 (社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる

1977年 (社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる

1980年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める

1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院（大阪校）開校

太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる

1982年 在日外国観光局協議会(ANTOR-JAPAN)推薦校となる

1986年 大阪府より専修学校として認可され、大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める。

アメリカ・シアトル校開校

1990年 夜間部旅行本科開設

1991年 (社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる

海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる

1992年 オーストラリア・メルボルン校開校

1993年 (社)日本観光旅館連盟推薦校(大阪校)となる

(社)大阪観光協会推薦校(大阪校)となる

(社)国際観光旅館連盟推薦校(大阪校)となる

1994年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更

1997年 (社)航空貨物運送協会(JAFA)推薦校となる

日本イベントプロデュース協会(JEPC)推薦校(大阪校)となる

関西エアーラインズマネジメント協会推薦校(大阪校)となる

2001年 東京日本語文化学校 開校

(社)日本ブライダル事業振興協会(BIA)推薦校となる

2002年 (社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる

2004年 日本イベントプロデュース協会(JEPC)推薦校(東京校)となる

2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更

ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更

ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更

2011年 大阪ブライダル専門学校 開校

2. 学科の教育

① 入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数 (2016年5月1日現在)

- ・ 受入れ方針 (応募資格) 高等学校卒業程度以上の学力を有し、心身ともに健全で明朗性、協調性、積極性および責任感があり、相手の立場に立って考え、行動できると判断される者。
- ・ 入学者数 昼間部 81名 夜間部 72名
- ・ 収容定員 昼間部 240名 夜間部 200名
- ・ 在学学生数 昼間部 182名 夜間部 155名

カリキュラム昼間部

別表1. 昼間部ブライダル学科2年次生

科目区分	必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数			
			第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計	
一般科目	必修	ホスピタリティヒューマンズスキル	30		30	2		2	
	必修	キャリアプランニングⅠ	30		30	2		2	
	必修	キャリアプランニングⅡ		30	30		2	2	
	必修	ビジネスマナーⅠ	30		30	2		2	
	必修	ビジネスマナーⅡ	30		30	2		2	
	必修	ビジネスマナーⅢ		30	30		2	2	
	必修	業界就職試験対策Ⅰ	30		30	2		2	
	必修	業界就職試験対策Ⅱ	30		30	2		2	
	必修	遊学ゼミ		30	30		2	2	
	必修	企業実習/集中講座	90	90	180	3	3	6	
	必修	ホームルーム	60	60	120	4	4	8	
	選択	秘書検定2級対策	30		30	2		2	
	選択	ビジネス能力検定&コミュニケーション検定対策		30	30		2	2	
	選択	TOEIC対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	総合管理者対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	地理検定国内3級対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	話しことば検定対策	30		30	2		2	
	選択	ピアヘルパー	30	30	60	2	2	4	
	選択	交流分析	30	30	60	2	2	4	
	選択	英検対策(準2級)	30		30	2		2	
	選択	英検対策(2級)	30		30	2		2	
	選択	韓国語能力試験対策	30		30	2		2	
	選択	マナープロトコール		30	30		2	2	
	選択	パソコン検定対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	手話検定対策(初級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	手話検定対策(中級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	日本語能力試験(N1)	30	30	60	2	2	4	
	選択	日本語検定対策		30	30		2	2	
	選択	ペン字検定対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	ハンゲル能力検定対策		30	30		2	2	
	選択	和食検定対策		30	30		2	2	
	選択	はじめてのパーソナルカラー	30	30	60	2	2	4	
	選択	アクティブイングリッシュ(初級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	アクティブイングリッシュ(中級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	観光地理	30	30	60	2	2	4	
	選択	はじめての手話	30	30	60	2	2	4	
	選択	バリアフリー		30	30		2	2	
	選択	はじめての中国語	30	30	60	2	2	4	
	選択	はじめての韓国語	30	30	60	2	2	4	
	選択	PCプレゼンテーション	30	30	60	2	2	4	
	選択	PCスペシャリスト(上級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	電話応対技能検定対策		30	30		2	2	
	専門科目	必修	ブライダル基礎知識	30		30	2		2
		必修	ブライダル業界対策	30		30	2		2
		必修	ブライダルフラワー基礎知識	30		30	2		2
必修		ブライダル検定対策	30		30	2		2	
必修		婚礼サービスⅠ	30		30	2		2	
必修		婚礼サービスⅡ	30		30	2		2	
必修		セルフプロデュースⅠ	30		30	2		2	
必修		セルフプロデュースⅡ	30		30	2		2	
必修		和装婚礼衣裳知識	30		30	2		2	
必修		洋装婚礼衣裳知識	30		30	2		2	
必修		和装コスチュームスタイリング	30		30	2		2	
必修		プレゼンテーションⅡ		30	30		2	2	
必修		ブライダルヘアメイク	30		30	2		2	
必修		パーソナルカラーⅠ	30		30	2		2	
必修		パーソナルカラーⅡ	30		30	2		2	
必修		プレゼンテーションⅠ	30		30	2		2	
必修		模擬挙式	30		30	2		2	
必修		ウェディングプランナー実務	30		30	2		2	
必修		ウェディングプランナー接客		30	30		2	2	
必修		コスチュームアドバイザー接客	30		30	2		2	
必修		ケーススタディ		30	30		2	2	
必修		卒業制作		30	30		2	2	
必修		ABC検定対策		30	30		2	2	
必修		コスチュームアドバイザー接客Ⅱ	30		30	2		2	
必修		ブライダルプランニング		30	30		2	2	
選択		ウェディングプランナーコース		180	180		12	12	
選択		コスチュームアドバイザーコース		180	180		12	12	
選択		ブライダルビューティーアドバイザーコース		180	180		12	12	
選択		ショップアドバイザーコース		180	180		12	12	
選択		ブライダル演出コーディネーターコース		180	180		12	12	
一般科目(必修)授業時数&単位数			330	240	570	19	13	32	
一般科目(選択)授業時数&単位数(1年次2科目、2年次4科目履修)			60	120	180	4	8	12	
専門科目(必修)授業時数&単位数			540	210	750	36	14	50	
専門科目(選択)授業時数&単位数(2コース履修)			0	360	360	0	24	24	
総授業時数			930	930	1860	59	59	118	

別表1. 昼間部ブライダル学科1年次生

科目区分	必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数			
			第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計	
一般科目	必修	ホスピタリティヒューマンズスキル	30		30	2		2	
	必修	キャリアプランニングⅠ	30		30	2		2	
	必修	キャリアプランニングⅡ		30	30		2	2	
	必修	ビジネスマナーⅠ	30		30	2		2	
	必修	ビジネスマナーⅡ	30		30	2		2	
	必修	ビジネスマナーⅢ		30	30		2	2	
	必修	業界就職試験対策Ⅰ	30		30	2		2	
	必修	業界就職試験対策Ⅱ	30		30	2		2	
	必修	游学ゼミ		30	30		2	2	
	必修	企業実習/集中講座	90	90	180	3	3	6	
	必修	ホームルーム	60	60	120	4	4	8	
	選択	秘書検定2級対策	30		30	2		2	
	選択	ビジネス能力検定&コミュニケーション検定対策		30	30		2	2	
	選択	TOEIC対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	総合管理者対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	地理検定国内3級対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	話しことば検定対策	30		30	2		2	
	選択	ピアヘルパー	30	30	60	2	2	4	
	選択	交流分析	30	30	60	2	2	4	
	選択	英検対策(準2級)	30		30	2		2	
	選択	英検対策(2級)	30		30	2		2	
	選択	接客日本語	30		30	2		2	
	選択	マナープロトコール		30	30		2	2	
	選択	パソコン検定対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	手話検定対策(初級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	手話検定対策(中級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	日本語能力試験(N1)	30	30	60	2	2	4	
	選択	日本語検定対策		30	30		2	2	
	選択	ペン字検定対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	ハングル能力検定対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	和食検定対策		30	30		2	2	
	選択	はじめてのパーソナルカラー		30	30		2	2	
	選択	アクティブイングリッシュ(初級)		30	30		2	2	
	選択	アクティブイングリッシュ(中級)		30	30		2	2	
	選択	観光地理		30	30		2	2	
	選択	はじめての手話		30	30		2	2	
	選択	バリアフリー		30	30		2	2	
	選択	はじめての中国語		30	30		2	2	
	選択	はじめての韓国語		30	30		2	2	
	選択	PCプレゼンテーション		30	30		2	2	
	選択	PCスペシャリスト(上級)		30	30		2	2	
	選択	電話応対技能検定対策		30	30		2	2	
	専門科目	必修	ブライダル基礎知識	30		30	2		2
		必修	ブライダル業界対策	30		30	2		2
		必修	ブライダルフラワー基礎知識	30		30	2		2
		必修	ブライダル検定対策	30		30	2		2
		必修	婚礼サービスⅠ	30		30	2		2
		必修	婚礼サービスⅡ	30		30	2		2
		必修	セルフプロデュースⅠ	30		30	2		2
		必修	セルフプロデュースⅡ	30		30	2		2
		必修	和装婚礼衣裳知識	30		30	2		2
		必修	洋装婚礼衣裳知識	30		30	2		2
		必修	和装コスチュームスタイリング	30		30	2		2
		必修	ブライダルサービス		30	30		2	2
		必修	ブライダルヘアメイク	30		30	2		2
必修		パーソナルカラーⅠ	30		30	2		2	
必修		パーソナルカラーⅡ	30		30	2		2	
必修		プレゼンテーションⅠ	30		30	2		2	
必修		模擬挙式	30		30	2		2	
必修		ウェディングプランナー実務	30		30	2		2	
必修		ウェディングプランナー接客		30	30		2	2	
必修		コスチュームアドバイザー接客Ⅰ	30		30	2		2	
必修		ケーススタディ		30	30		2	2	
必修		卒業制作		30	30		2	2	
必修		ABC検定対策		30	30		2	2	
必修		コスチュームアドバイザー接客Ⅱ	30		30	2		2	
必修		ブライダルプランニング		30	30		2	2	
選択		ウェディングプランナーコース		180	180		12	12	
選択		コスチュームアドバイザーコース		180	180		12	12	
選択		ブライダルビューティーアドバイザーコース		180	180		12	12	
選択	ショップアドバイザーコース		180	180		12	12		
選択	ブライダル演出コーディネーターコース		180	180		12	12		
一般科目(必修)授業時数&単位数			330	240	570	19	13	32	
一般科目(選択)授業時数&単位数(1年次2科目、2年次4科目履修)			60	120	180	4	8	12	
専門科目(必修)授業時数&単位数			540	210	750	36	14	50	
専門科目(選択)授業時数&単位数(2コース履修)			0	360	360	0	24	24	
総授業時数			930	930	1860	59	59	118	

夜間部カリキュラム

別表1. 夜間部ブライダル学科2年次生									
科目区分	必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数			
			第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計	
一般科目	必修	ホスピタリティヒューマンスキル	15		15	1		1	
	必修	キャリアプランニングⅠ	30		30	2		2	
	必修	キャリアプランニングⅡ		30	30		2	2	
	必修	ビジネスマナーⅠ	15		30	1		2	
	必修	ビジネスマナーⅡ	15		30	1		2	
	必修	業界就職対策試験Ⅰ	15			1			
	必修	業界就職対策試験Ⅱ	15			1			
	必修	ビジネスマナーⅢ		30	30		2	2	
	必修	遊学ゼミ		15	15		1	1	
	必修	集中講座	45	45	90	3	3	6	
	必修	ホームルーム	60	60	120	4	4	8	
	選択	秘書検定2級対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	ビジネス能力検定&コミュニケーション検定		30	30		2	4	
	選択	TOEIC対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	総合管理者対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	日本語検定対策		30	30		2	2	
	選択	手話検定対策(初級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	手話検定対策(中級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	ピアヘルパー	30	30	60	2	2	4	
	選択	ペン字検定対策	30		30	2		2	
	選択	英検対策(準2級)	30		30	2		2	
	選択	英検対策(2級)	30		30	2		2	
	選択	電話応対技能検定対策		30	30		2	2	
	選択	パソコン検定対策	30	30	60	2	2	4	
	専門科目	必修	ブライダル基礎知識	15		15	1		1
		必修	ブライダル業界対策	15		15	1		1
必修		和装婚礼衣裳知識	15		15	1		1	
必修		洋装婚礼衣裳知識	15		15	1		1	
必修		婚礼サービスⅠ	15		15	1		1	
必修		婚礼サービスⅡ	15		15	1		1	
必修		和装コスチュームスタイリング	15		15	1		1	
必修		コスチュームアドバイザー接客	15		15	1		1	
必修		ブライダルヘアメイク	15		15	1		1	
必修		ウェディングプランナー実務	15		15	1		1	
必修		ウェディングプランナー接客		15	15		1	1	
必修		コスチュームアドバイザー接客Ⅱ		15	15		1	1	
必修		プレゼンテーション	15		15	1		1	
必修		パーソナルカラーⅠ	15		15	1		1	
必修		パーソナルカラーⅡ	15		15	1		1	
必修		セルフプロデュースⅠ	15		15	1		1	
必修		セルフプロデュースⅡ	15		15	1		1	
必修		ブライダルプランニング		15	15		1	1	
必修		ABC検定対策		30	30		2	2	
選択		ウェディングプランナーコース		180	180		12	12	
選択		コスチュームアドバイザーコース		180	180		12	12	
選択	ブライダルビューティーアドバイザーコース		180	180		12	12		
選択	ショップアドバイザーコース		180	180		12	12		
選択	ブライダル演出コーディネーターコース		180	180		12	12		
一般科目(必修)授業時数&単位数			210	180	390	14	12	26	
一般科目(選択)授業時数&単位数(1年次1科目、2年次1科目履修)			30	30	60	2	2	4	
専門科目(必修)授業時数&単位数			225	75	300	15	5	20	
専門科目(選択)授業時数&単位数(2コース履修)			0	180	180	0	12	12	
総授業時数			465	465	930	31	31	62	

科目区分	必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数			
			第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計	
一般科目	必修	ホスピタリティヒューマンスキル	15		15	1		1	
	必修	キャリアプランニングⅠ	30		30	2		2	
	必修	キャリアプランニングⅡ		30	30		2	2	
	必修	ビジネスマナーⅠ	15		30	1		2	
	必修	ビジネスマナーⅡ	15		30	1		2	
	必修	業界就職対策試験Ⅰ	15			1			
	必修	業界就職対策試験Ⅱ	15			1			
	必修	ビジネスマナーⅢ		30	30		2	2	
	必修	遊学ゼミ		15	15		1	1	
	必修	集中講座	45	45	90	3	3	6	
	必修	ホームルーム	60	60	120	4	4	8	
	選択	秘書検定2級対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	ビジネス能力検定&コミュニケーション検定		30	30		2	4	
	選択	TOEIC対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	総合管理者対策	30	30	60	2	2	4	
	選択	日本語検定対策		30	30		2	2	
	選択	手話検定対策(初級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	手話検定対策(中級)	30	30	60	2	2	4	
	選択	ピアヘルパー	30	30	60	2		2	
	選択	ペン字検定対策	30		30	2		2	
	選択	英検対策(準2級)	30		30	2		2	
	選択	英検対策(2級)	30		30	2		2	
	選択	電話応対技能検定対策		30	30		2	2	
	選択	パソコン検定対策	30	30	60	2	2	4	
	専門科目	必修	ブライダル基礎知識	15		15	1		1
		必修	ブライダル業界対策	15		15	1		1
必修		和装婚礼衣裳知識	15		15	1		1	
必修		洋装婚礼衣裳知識	15		15	1		1	
必修		婚礼サービスⅠ	15		15	1		1	
必修		婚礼サービスⅡ	15		15	1		1	
必修		和装コスチュームスタイリング	15		15	1		1	
必修		コスチュームアドバイザー接客Ⅰ	15		15	1		1	
必修		ブライダルフラワー基礎知識	15		15	1		1	
必修		ウェディングプランナー実務	15		15	1		1	
必修		ウェディングプランナー接客		15	15		1	1	
必修		コスチュームアドバイザー接客Ⅱ		15	15		1	1	
必修		プレゼンテーション	15		15	1		1	
必修		パーソナルカラーⅠ	15		15	1		1	
必修		パーソナルカラーⅡ	15		15	1		1	
必修		セルフプロデュースⅠ	15		15	1		1	
必修		セルフプロデュースⅡ	15		15	1		1	
必修		ブライダルプランニング		15	15		1	1	
必修		ABC検定対策		30	30		2	2	
選択		ウェディングプランナーコース		180	180		12	12	
選択	コスチュームアドバイザーコース		180	180		12	12		
選択	ブライダルビューティーアドバイザーコース		180	180		12	12		
選択	ショップアドバイザーコース		180	180		12	12		
選択	ブライダル演出コーディネーターコース		180	180		12	12		
一般科目(必修)授業時数&単位数			210	180	390	14	12	26	
一般科目(選択)授業時数&単位数(1年次1科目、2年次1科目履修)			30	30	60	2	2	4	
専門科目(必修)授業時数&単位数			225	75	300	15	5	20	
専門科目(選択)授業時数&単位数(2コース履修)			0	180	180	0	12	12	
総授業時数			465	465	930	31	31	62	

③進級・卒業の要件

- ・総授業時間数の75%以上を受講すること
- ・1年間において、昼間部は45単位、夜間部は24単位の単位数を取得すること

④資格取得実績

資格名称	2015年合格者
ビジネス能力検定2級	17名
ビジネス能力検定3級	145名
レストランサービス技能検定2級	—
秘書技能検定2級	13名
秘書技能検定3級	1名
全国手話検定5級	—
サービス接客検定2級	5名
ファッション販売能力検定3級	1名
A B C検定	121名
色彩技能パーソナルカラー検定 モジュール1	48名
認定ドレスコーディネーター	96名
フォーマルススペシャリストプロフェッショナルライセンス	78名

⑤就職者数・就職状況

	2015年度
就職希望者数	160名
就職決定者数	160名
求人会社数	146社
内ブライダル業界	140社
内他業界（適職）	6社

3. 教職員

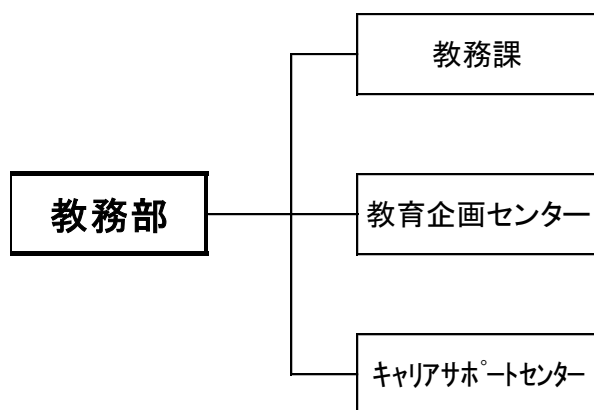
①教員数

46名（内、専任教員9名）

②主な職名

学校長1 教務部長1 教務課長1 キャリアサポートセンター長1 学科長1

③教職員の組織



④教職員の研修活動（2015年度）

- ・ 7/28 「表現・コミュニケーションワークの紹介」
- ・ 3/24 「道徳観に関するケーススタディグループワーク」

■講師会議の提案

- ・ 3/25 「マイナンバー」 奥野成先生
(手続き関連、103万・106万・108万の壁、外国人のマイナンバーについて等)

■教職員用スキルチェックシート完成

■能力開発申請書の運用開始 ＊2015受講、取得（ビジネス能力検定は除く）

- ・ 西洋料理テーブルマナー認定講師
- ・ HR S レストランサービス技能検定2級
- ・ Excel VBA スキルアップ講座
- ・ 秘書ビジネス実務教育 担当初任者地方研究会
- ・ サービス接客検定準1級
- ・ 温泉ソムリエ
- ・ ABC検定
- ・ ユニバーサルマナー検定3級
- ・ ブライダル法務セミナー
- ・ INFINI 検定中級
- ・ TESOL（英語教授法）講座
- ・ アマデウス検定初級
- ・ ACCESS 検定国内3級
- ・ 国内旅行業務取扱管理者
- ・ 日本語教育能力検定
- ・ JHRS 主催旅行業務取扱管理者資格取得対策セミナー

- ・ドレスコーディネーター検定
- ・TOEIC650
- ・心理カウンセリング1級、コーチング1級認定
- ・CDA（キャリアデベロップメントアドバイザー、キャリアコンサルティング）
- ・みんなの外国語検定（英語）
- ・みんなの外国語検定（中国語）

合計資格（受講のみ3含む）34

4. キャリア教育・実践的職業教育

①キャリア教育への取組状況

必修科目として、「キャリアプランニング」を2年通年でカリキュラムに設置している。自己分析、職業観の醸成、業界研究や面接・筆記対策等を柱とし、就職決定までのアクションプランを各自で作成する。

②実習・実技等への取組状況

昼間部では企業実習を必修とし、夏期に観光サービス関連企業でのインターンシップを有償で行っている。実習中の評価や課題は、企業の現場担当者が実習ノートに記入し、本校担当者が確認、指導を行っている。

夜間部においては、昼間はブライダル業界並びに観光サービス業界にて研修を行い、夜間に本学の講義を受講する「夜間部企業研修制度」の仕組みを有する。

③就職支援等への取組状況

企業との窓口として、キャリアサポートセンターがあり、担当者が担任と協力して情報収集にあたり、学生と企業とのマッチングを行っている。2013年度からは、教育課程編成委員会を開催し、企業からの意見をカリキュラムに反映できる仕組みを構築した。

5. 様々な教育活動・教育環境

①学校行事への取組状況

主な行事

- ・入学式
- ・新入生合宿（クラスメイトとの親睦を深める、学校生活に慣れる）
- ・トラジャル祭（体育祭）
- ・ブライダル施設見学
- ・ホスピタリティ祭（文化祭）
- ・就職セミナー
- ・国内・海外研修旅行（国内・海外選択性）
- ・卒業式

②課外活動

現行、カリキュラムの中に課外活動的な講義を組み込んでいるので、純粋な課外活動としては吹奏楽部の活動など一部に限定されている。ただし、新規でクラブ等を発足した時のために、そのための予算確保は毎年行っている。

6. 学生の生活支援

- ・学生生活全般は担任、アルバイトや就職に関してはキャリアサポートセンター、学費・住居・保険に関しては学生課と、各種の相談体制をとっており、心因的な相談には専任のカウンセラーが対応している。また、退学の前兆を出席率の低下から予見し、早期に対応する体制をとっている。年次・月次の比較による退学の要因分析により、全校的な退学防止の取り組みを行っている。
- ・入学予定者に対する各種の学費減免制度を設定している他、学費一括納入が不可能な学生に対しては分納の相談に応じるなど、専任者による細やかな対応を行っている。
- ・学生課主管でX線撮影までの健康診断を実施し、同部署で保健室の管理も行っている。心因的なものに対しては、専任のカウンセラーを置いて対応している。
- ・地方学生のための安価で安心な住居紹介や、連携業界でのアルバイト紹介を行っている。

7. 学生納付金・就学支援

①学費

●納入時期

入学前・・・各選考回で設定されている入金期日までに、入学金、施設設備費、前期授業料までを納付する

1年次・・・入学年度の8月末日までに後期授業料を納付する

2年次・・・入学年度の2月末日までに施設設備費、前期授業料を納付する

2年次8月までに後期授業料を納付する

●納入金額

(単位円)

昼間部	入学金	施設設備費	前期授業料	後期授業料	合計
1年次	100,000	220,000	589,000	589,000	1,498,000
2年次		220,000	589,000	589,000	1,398,000

【その他の費用】

入学検定料 20,000 円

テキスト代 30,000～60,000 円

研修旅行費用 60,000 円 (国内)

※海外の研修旅行に参加する場合は、別途 100,000～200,000 円追加 (行先により異なる)

(単位円)

夜間部	入学金	施設設備費	前期授業料	後期授業料	合計
1年次	100,000	119,000	288,000	288,000	795,000
2年次		119,000	288,000	288,000	731,000

【その他の費用】

入学検定料 20,000 円

テキスト代 20,000～50,000 円

研修旅行費用 60,000 円 (国内)

※海外の研修旅行に参加する場合は、別途 100,000～200,000 円追加 (行先により異なる)

②就学支援

●学費減免制度

特待生制度、英語資格取得奨学金、長期留学制度奨学金 (海外への留学者対象)、ポイントカード奨学金、AO制度、指定校推薦入学制度、家族推薦奨学金、ライセンス取得奨学金、TOEIC表彰制度等

●本学独自のサポート制度

授業料月払い制度、卒業後学費返済制度 (夜間部のみ)

他、学費を一括で支払えない学生に対しては、個別に分納支払の申請を受け付ける

8. 学校の財務

- ・HP上にて公開

9. 学校評価

自己評価委員会、学校関係者評価委員会の審議を経て、学校HPにて公開。

10. 国際連携の状況

①外国人留学生の受入れについて

・卒業要件は日本人と同じであるが、入学要件として、日本語能力試験N2以上を基本とし、同等程度の語学力を必須とする。

・在籍者数は、3名である。

・本学は、外国人留学生専門の担当者を配しており、住居の紹介、入学後の学習フォロー、生活指導、病院の紹介、入国管理局との事務折衝、就職指導等を一元管理している。

・外国人留学生を対象に、「学習奨励費」として独自の学費減免制度があり、1年次 620,000 円、2年次 500,000 円の減免の他、特待生制度や出席優良賞等各種の減免制度がある。

②日本人留学生の海外派遣について

・学園としてアメリカ・シアトルに現地法人を有し、希望する日本人留学生を同地の大学に1年間

派遣し、現地での学習成果に対しては成績表を発行している。また、海外の企業を積極的に開拓・紹介し、学生の海外就職をサポートしている。

1 1. その他

学 則

平成 28 年(2016 年)4月1日

大阪ブライダル専門学校

大阪ブライダル専門学校学則

第 1 章 総 則

(目的)

第 1 条 本校は、教育基本法に則り、学校教育法に基づき、文化・教養専門課程を設置し、ブライダルをはじめ関連するサービスに係る専門分野において必要な知識・技能の習得により、有能かつ豊かな教養を備えた気力ある社会人を育成することを目的とする。

(名称)

第 2 条 本校は大阪ブライダル専門学校という。

(位置)

第 3 条 本校の位置を下記におく。

1 号館 大阪市西区江戸堀 2 丁目 6 番 29 号

2 号館 大阪市西区江戸堀 2 丁目 1 番 24 号

3 号館 大阪市西区江戸堀 2 丁目 1 番 25 号

なお、代表所在地は 3 号館とする。

(自己点検・評価)

第 4 条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するために、本校における教育活動の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2. 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第 2 章 課程及び学科、修業年限、定員並びに休日

(課程・学科・修業年限・定員)

第 5 条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程	学 科 名	修業	入学定員	総定員	備考
文化・教養専門課程	ブライダル学科	2 年	120 名	240 名	昼間
文化・教養専門課程	夜間部ブライダル学科	2 年	100 名	200 名	夜間
合 計				440 名	

(学年・学期の終始期)

第 6 条 本校の学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。学年を分けて次の 2 学期とする。

前 期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後 期 10 月 1 日から 3 月 31 日まで

(休業日)

第 7 条 本校の休業日は次のとおりとする。

(1)日曜日

(2)国民の祝日に関する法律で規定する日

(3)GW 休暇 4 月 29 日から 5 月 5 日まで

(4)夏季休業 7 月下旬から 9 月 30 日の間の 5 週間

(5)冬季休業 12 月下旬から 1 月上旬までの 3 週間

(6)春季休業 3 月中旬から 4 月上旬までの 3 週間

(7)学校創立記念日 10 月 1 日

2. 前項の規定にかかわらず学校長が特に必要であると認めるときは、臨時に休業を行い、又は休業日に授業を行うことがある。

第 3 章 教育課程、授業時間数及び教職員組織

(教育課程、授業時数及び他の専修学校・大学等における授業科目の履修)

第 8 条 本校の教育課程及び授業時数等は、別表 1 のとおりとする。

2. 別表 1 に定める授業時数の 1 単位時間は、昼夜間部とも 45 分とし、卒業までに履修させる授業時数は、昼間部 2 年制にあつては 1700 時間以上、夜間部 2 年制にあつては 900 時間以上とする。
3. 教育上有益と認めるときは、他の専修学校や大学等において別に定める科目を履修した場合には、本校の専門課程の修了に必要な総授業時間数の 2 分の 1 を超えない範囲で、当該課程における選択科目の履修とみなす。

(授業の終始時刻)

第 9 条 本校の始業及び終業の時刻は、次のとおりとする。

昼間部 午前 10 時 00 分より 午後 5 時 00 分までとする。

夜間部 午後 6 時 25 分より 午後 9 時 00 分までとする。

但し、実習時間については別に定める。

(教職員組織)

第 10 条 本校に次の教職員を置く。

- (1)校長 1名
- (2)教員 10名以上
- (3)職員 10名以上
- (4)学校医 1名

2. 校長は校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4章 入学、休学、転学、退学、卒業及び賞罰

(入学資格)

第11条 本校に入学できるものは、次のとおりとする。
高等学校卒業者又は同等以上の能力を有する者

(入学時期)

第12条 本校の入学時期は4月とする。

(入学手続・許可)

第13条 本校の入学手続は次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとするものは、本校の定める入学願書、その他の書類に必要事項を記載し、第23条に定める入学検定料を添えて、指定期日までに出席しなければならない。
- (2) 前号の手続を終了したものに対して入学試験又は面接を行い、入学者を決定する。
- (3) 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から10日以内に第23条に定める入学金を添え、手続をとらなければならない。

(休業・復学)

第14条 学生が疾病、その他やむを得ない事由によって、10日以上休学する場合は、その事由を記し、診断書を添えて校長の許可を受けなければならない。

2. 前項の者が復学しようとする場合は、届け出て復学することができる。

(休学期間)

第15条 休学期間は休学開始年度の3月31日までを限度とし、年度をまたがることはできない。但し、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学の延長を認めることができる。

- 2. 休学期間は通算して2年を越えることができない。
- 3. 休学期間中は第5条の修業年限には算入しない。

(自主退学)

第 16 条 退学しようとする者は、その事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

(転入学)

第 17 条 転入学を希望する者がある場合は、教育計画及び学科実習の進展が同程度であり、且つやむを得ない事情があると認めた場合には、選考の上許可することができる。

(卒業の認定)

第 18 条 本校所定の課程を修了し、試験に合格し、出席日数を満たした者には別記様式による卒業証書を授与する。

2. 下記の課程修了者には専門士の称号を付与する。

文化・教養実務専門課程 ブライダル学科

(褒賞)

第 19 条 成績優秀にして他の模範となる者は、褒賞することがある。

(懲戒)

第 20 条 校長が教育上必要と認めるときは、学生に懲戒を加えることがある。

2. 懲戒の種類は次の通りとする。

- (1)訓告 始末書を提出させ、嚴重に注意し戒める。
- (2)停学 始末書を提出させ、登校を停止して自宅で謹慎させる。
- (3)退学 放校し、学籍から除外する。

3. 前項の訓告は次の各号の 1 に該当する学生に対して行う。

- (1)授業態度が著しく悪い者
- (2)身なり、服装、態度が学生に相応しくなく、再三の注意にもかかわらず改めない者
- (3)授業のない日であっても乗用車及びオートバイ等で登校した者
- (4)教室内や所定の場所以外で喫煙した者
- (5)無届けで 2 週間以上欠席した者
- (6)試験において不正行為または不正行為と疑わしい行為を行った者
- (7)学校の名誉を傷つけ、信用を失墜させる不祥事を起こした者

4. 第 2 項の停学は次の各号の 1 に該当する学生に対して行い、期間は 1 日以上 7 日間以内とし、授業は欠席扱いとする。

- (1)学校の建物及び器物に故意に損害を与えた者

- (2) 学校の教職員及び他の学生に暴行を加えた者(被害者が軽傷程度の場合)
- (3) 訓告の処分を受けた後も反省がなく、再度訓告に該当する行為をした者
- (4) 社会常識を超える染め毛、毛髪脱色、タトゥー(入れ墨)などにより、明らかに学校の秩序が乱れると判断されたもの
- (5) 学校の名誉を傷つけ、信用を著しく失墜させる不祥事を起こした者

5. 第2項の退学は次の各号の1に該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みが無いと認められるとき
- (2) 学力劣等で成業の見込みが無いと認められる者
- (3) 正当な理由がなく出席が常でない者
- (4) 薬物類にかかわる一切の行為(売買、使用、所持、その他類似する行為)をした者
- (5) 違法行為やその他、学校・社会の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者(教職員及び他の学生に暴行を加えた者を含む)
- (6) 停学処分を受けた後も反省がなく、再度停学又は訓告に該当する行為をした者
- (7) 無届けで1カ月以上欠席した者
- (8) 所定の期日までに授業料の納入を怠った者、又は、再三の督促にもかかわらず授業料を納入しない者

(除籍)

第21条 次の各号の1に該当するものは、審議の上「除籍」とし、放校し、学籍から除外する。

- (1) 第20条の退学処分を受けたもの。
- (2) 在学期間が修業年限の2倍を超えたとき、又は休学期間が通算で2年を超えた者。
- (3) 休学期間が満了しても復学の願いをしない者。
- (4) 前号で除籍された者には、証明書の発行、復籍は認めない。

第6章 学習の評価、進級

(成績評価)

第22条 授業科目の成績評価は、学期末にある定期試験により行う。但し、科目によっては授業時間中に実技、あるいは課題提出により行うことがある。ホームルームや実習は、成果履修状況を勘案の上、単科目出席率が75%以上でR認定評価とし、それ以下であればD評価とする。

2. 成績評価は科目ごとにA、B、C、Dの4段階とする。D評価は単位不認定とする。1年間の所定の取得単位が75%未満の場合は、学年末に進級・卒業資格試験を受験しなくてはならない。

3. 科目試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を許可することがある。

(授業時数の単位数への換算)

第 23 条 本校の専門課程の授業科目の授業時数を単位数に換算する場合、講義・演習にあつては、15 時間をもって 1 単位、実技・実習にあつては 30 時間をもって 1 単位とする。

(出席率)

第 24 条 1 年間の所定の授業時数の 25% 以上欠席した者は、進級又は卒業することが出来ない。

第 7 章 入学金、授業料、その他

(納付金)

第 25 条 本校の入学金、授業料等は別表 2 のとおりとする。

(納入及び納入の特例)

第 26 条 学生がその在籍中は、出席の有無に関わらず、授業料及び施設設備費を所定の期日までに納入しなければならない。

2. 学生が休学したときは、前項の規定に関わらず休学期間中の授業料を免除することがある。
3. 特別の理由がある場合には、別に定めるところにより、授業料の全部又は一部を減免することがある。

(滞納)

第 27 条 正当な理由がなく、かつ、所定の手続きを行わずに授業料及び施設設備費を 6 ヶ月以上滞納し、その後においても納入の見込みがないときは、退学を命ずることがある。

(納入金の返還)

第 28 条 既納の入学金、授業料、施設設備費及び入学検定料は原則として返還しない。但し、次の各号に該当する場合はこの限りでない。

- (1) 入学許可を得た者で 3 月 31 日までに入学の取消しを願い出た者については入学金及び入学検定料を除く学費を返還する。
- (2) 本校の大学・短大・就職併願制度利用申請をした者で、他校への進学または就職を決めたため本校への入学を辞退する場合は、入学金、授業料及び施設設備費を全額返還する。

(健康診断)

第 29 条 健康診断は、毎年 1 回実施する。

附則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から実施する。

別表 1 カリキュラムの変更

この学則は、平成 24 年 3 月 15 日から実施する

第 17 条 ブライダル学科修了生に対する専門士称号の付与に関する事項

別記様式(1)の変更 卒業証書における、課程修了者に対する専門士称号付与の文言追加

別記様式(2)の追加 夜間部ブライダル学科修了者用(専門士称号付与無し)

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から実施する(改定)

別表 1 カリキュラムの変更

別表 2 夜間部授業料変更(平成23年3月31日変更届出承認済)

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から実施する(改定)

第 5 条 入学定員の変更

第 15 条 休学期間に関する条文追加

第 16 条 (退学)⇒(自主退学)へ変更

第 21 条 除籍に関する条文追加

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から実施する(改定)

第 21 条 文言の追加

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から実施する(改定)

第 5 条 定員の変更

別表 1 カリキュラム変更

別表 2 授業料変更

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から実施する(改定)

第 20 条 懲戒に関する条文変更

別表 1 カリキュラム変更

この学則に必要な細則は、校長が別に定める。